

No	スライド	説明文
スライド 1		<p>洪水・土砂災害ハザードマップの冊子面について、解説します。</p>
スライド 2		<p>左側が裏表紙、右側が表紙です。</p> <p>裏表紙の上段は、我が家の防災メモとして、家族の連絡先や生年月日等を記載できるようになっています。</p> <p>中段には、緊急時の連絡先として、親族や知人等の連絡先等が記載できるようになっています。</p> <p>災害時には、より安全な親戚・知人宅への避難は有効な避難行動になります。</p> <p>日頃から相談し、いざというときに避難できるようにしてきましょう。</p> <p>下段は、災害時の連絡方法として、災害時伝言ダイヤルの使い方を載せています。</p> <p>詳しい使い方はQRコードをお読み取りいただき、サイトへアクセスしてみてください。</p> <p>では中身に入っていきます。</p>
スライド 3		<p>表紙をめくっていただくと、見開きの左側が「はじめに」と「目次」、右側がハザードマップの使い方、目的になっています。</p> <p>今回の冊子では、洪水・土砂災害のほかに地震や火災時の防災行動についても掲載をしています。</p> <p>足利市で起こりえる様々な災害への備えとしてお持ちいただけるようになっています。</p>
スライド 4		<p>次のページです。</p> <p>過去に足利市に甚大な被害をもたらした2つの災害を紹介しています。</p> <p>これは、過去の災害を風化させることなく、当時の教訓を活かしていきたいという思いから掲載しています。</p> <p>左側が昭和22年に発生したカスリーン台風の紹介です。</p> <p>右側は令和元年に発生した令和元年東日本台風の紹介です。</p>

<p>スライド 5</p>		<p>次のページは足利市被害実績マップです。</p> <p>過去の集中豪雨や台風等により発生した被害を地図上にまとめたものです。</p> <p>浸水範囲は、令和元年東日本台風の際に実施した現地調査及び聞き取り調査をもとに範囲を示しています。</p> <p>その他の被害歴は、概ね10年間に市が確認した被害の実績です。</p> <p>避難経路の設定を考える際にわか雨、夕立が降った際に気を付ける場所の確認等にお役立ていただければと思います。</p>
<p>スライド 9</p>		<p>次のページです。</p> <p>このページは洪水浸水想定区域の浸水継続時間を表示した図面です。</p> <p>洪水浸水想定区域図と同じ状況の大雨が降って、河川が氾濫した場合に、浸水深が50cmを超えてから50cmを下回るまでの時間を色ごとに区分して地図上に落とし込んでいます。</p> <p>浸水深と合わせて、浸水時間がどれくらい長さなのかを確認することで、屋内の高いところに避難した場合にどれくらいの備蓄を用意すればいいかの目安がわかります。</p>
<p>スライド 7</p>		<p>次のページは、日頃の備え編と題しています。</p> <p>まず見開きの左側が避難情報や防災情報の入手先、右側が非常持出品・備蓄品というタイトルです。</p> <p>左側ですが、上段が避難情報等の伝達経路、中段が市が発信する情報、下段が気象・河川・土砂災害に関する情報提供となっています。</p> <p>特に中段に掲載されている「市が発信する情報」ですが、様々な情報伝達手段を用意しておりますので、いずれかをご登録いただくと幸いです。それぞれQRコードからアクセスすることができます。</p> <p>また、下段の各種サイトは、危機管理課職員も実際に使用しているおススメのサイトをまとめているので、気象情報、防災情報の入手先として、お気に入り登録等をされると良いかと思えます。</p> <p>右側ですが、非常持出品、備蓄品の一例を紹介しています。非常持出品、備蓄品でこれは必要だというものがあれば各自で記載しておきましょう。</p> <p>下段はローリングストックの紹介をしています。備蓄するものだからといって、何年も保存できるものでなくても、非常食として扱う方法を説明していますので、実践してみてください。</p>

<p>スライド 8</p>		<p>次のページは、風水害編と題しまして、見開きの左側が気象に関する情報、右側が風水害から身を守るという項目になっています。</p> <p>特に右側ページの下段、風水害への備えでは、大雨時に備えた自宅や財産を守るためにできる取り組みを紹介していますので参考にしてください。</p>
<p>スライド 6</p>		<p>次のページは土砂災害への備えです。</p> <p>土砂災害の危険性が高くなったときに発令される情報の伝達経路、土砂災害の予兆現象について説明をしています。</p> <p>土砂災害警戒区域内や付近に住んでいる方、山の近くに住んでいる方は是非お読みください。</p>
<p>スライド 10</p>		<p>次のページからは避難編となっています。</p> <p>一口に「避難」といっても、それぞれのご家庭や地域の状況などによって異なる対応が必要になります。</p> <p>また、市からの避難情報に関わらず、自主的に早めの避難行動がとれるよう、心がけていただきたいと思います。</p> <p>こちらの避難編では、そのような皆様による自主的な避難行動の助けとなるよう紙面を工夫いたしました。</p>
<p>スライド 11</p>		<p>次のページです。</p> <p>見開きの左側で避難の流れを確認できます。</p> <p>ハザードマップを確認し、どのタイミングでどのような避難行動をとるのかを考えてみましょう。</p> <p>右側では、避難時の注意点を記載していますので、確認しておきましょう。</p>
<p>スライド 12</p>		<p>次のページです。</p> <p>こちらは、水害時の防災行動イメージです。</p> <p>各河川の基準水位や気象情報をもとに、市からどのような情報が発表されるか、市民の皆様はどのタイミングでどのような行動をとるべきかを掲載しています。</p> <p>皆様のご家庭では、どのタイミングでどのような行動をとるのかを一番右のマイタイムラインに記載してみましょう。</p>

<p>スライド 13</p>		<p>次のページは地震編です。</p> <p>見開きで地震への備え、地震発生時の対処方法等を紹介しています。</p> <p>特に家の中、周辺の地震対策は日頃からの準備が大切です。これを機に家庭の安全対策を進めてみてはいかがでしょうか。</p>
<p>スライド 14</p>		<p>次のページは、地域防災編です。</p> <p>火災対策のほかに、地域で活動していただいている自主防災組織の活動、要配慮者への対応について等を掲載しています。</p> <p>また、過去に発生した多くの災害では、災害発生直後は自助、共助で支えあい、命を守ってきています。</p> <p>自助、共助の大切さを理解していただき、自主防災組織の活動に参加していただけるようお願い申し上げます。</p>
<p>スライド 15</p>		<p>最終ページは、避難所一覧です。</p> <p>足利市では、市の真ん中を流れる渡良瀬川の影響が大きく、浸水しない想定場所は少ない地域です。</p> <p>指定避難所でも河川氾濫時には、上の階に避難するなどの対策が必要になってきます。</p> <p>また、民間企業様の御協力をいただき、現時点で車中避難場所が4箇所あります。市では今後もこのような避難所を増やしていきたいと考えています。</p> <p>なお、市が準備している避難所以外にも避難できる場所を各ご家庭で用意しておけると良いでしょう。</p> <p>ポケットの収納部分には、防災関係機関の連絡先を記載しています。</p> <p>いざというときお役立てください。</p> <p>解説は以上です。</p> <p>最後までご視聴いただき、ありがとうございました。</p>